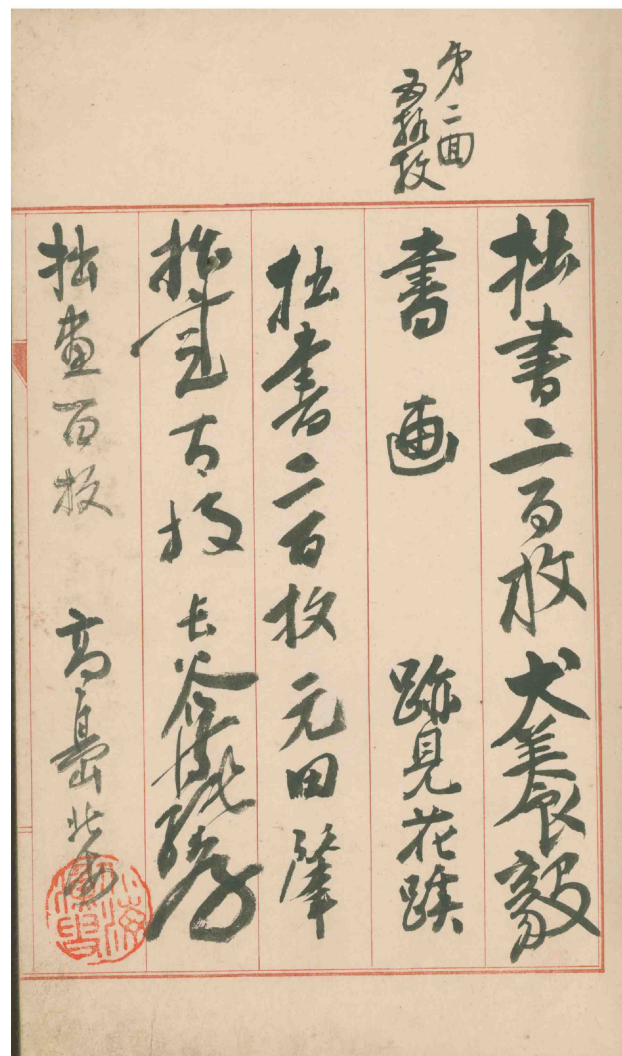
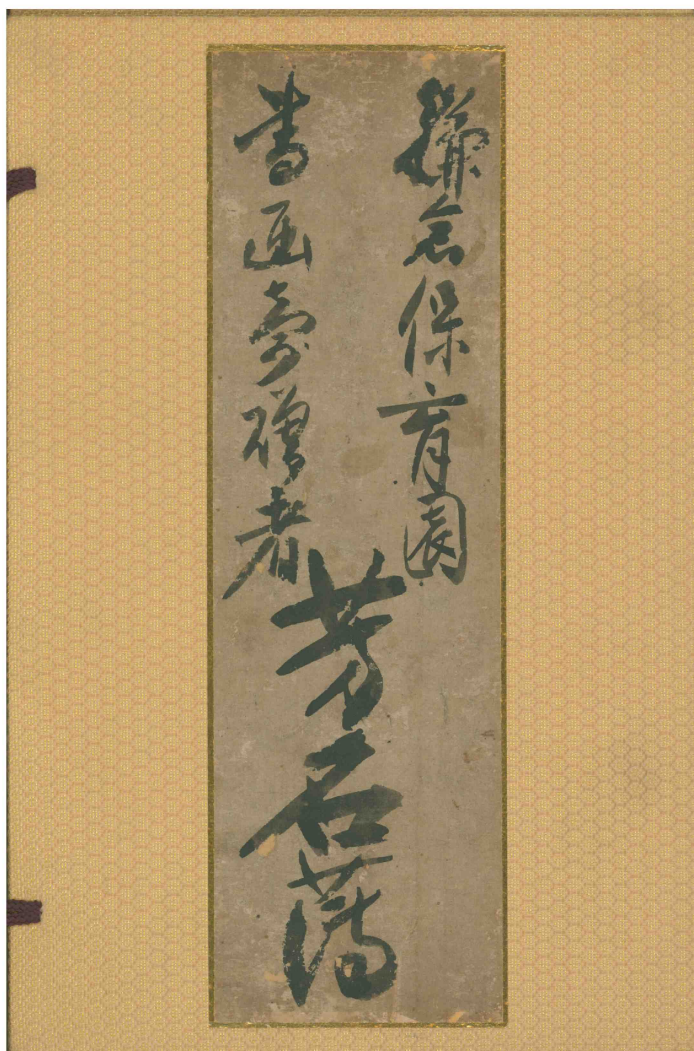
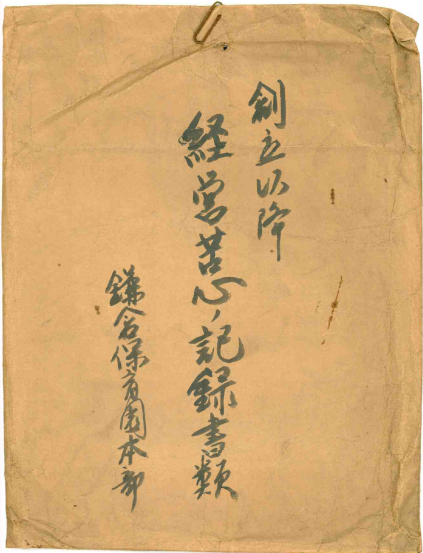
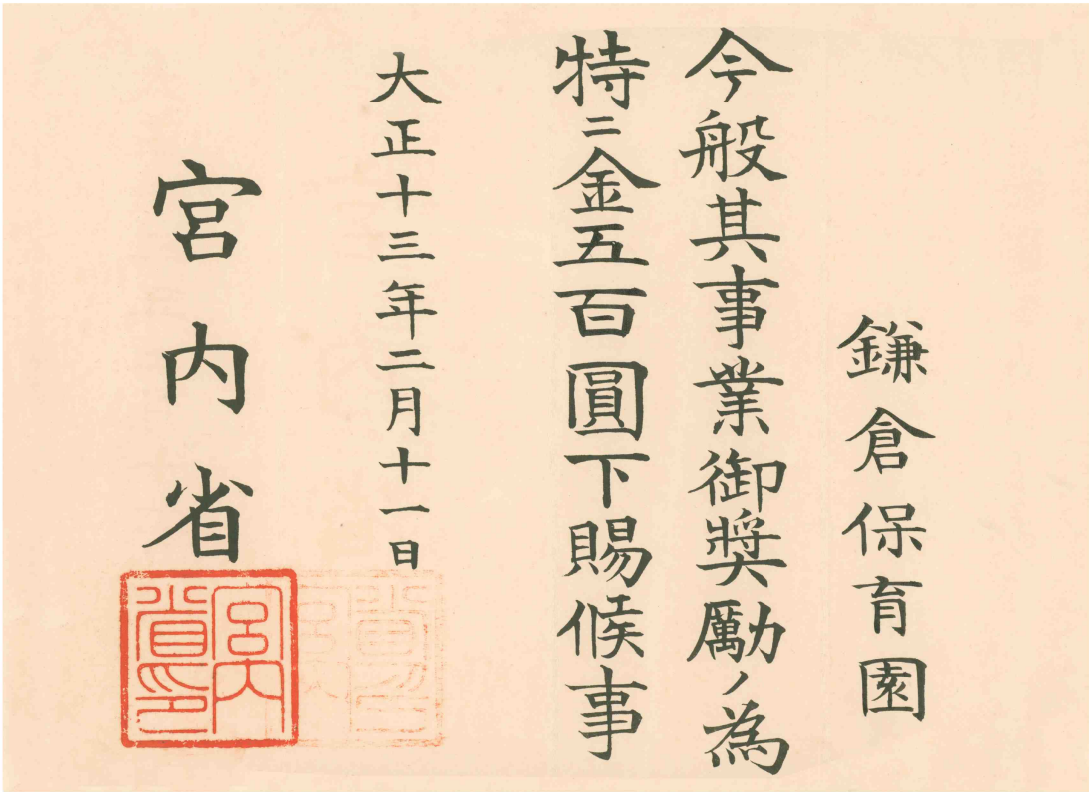
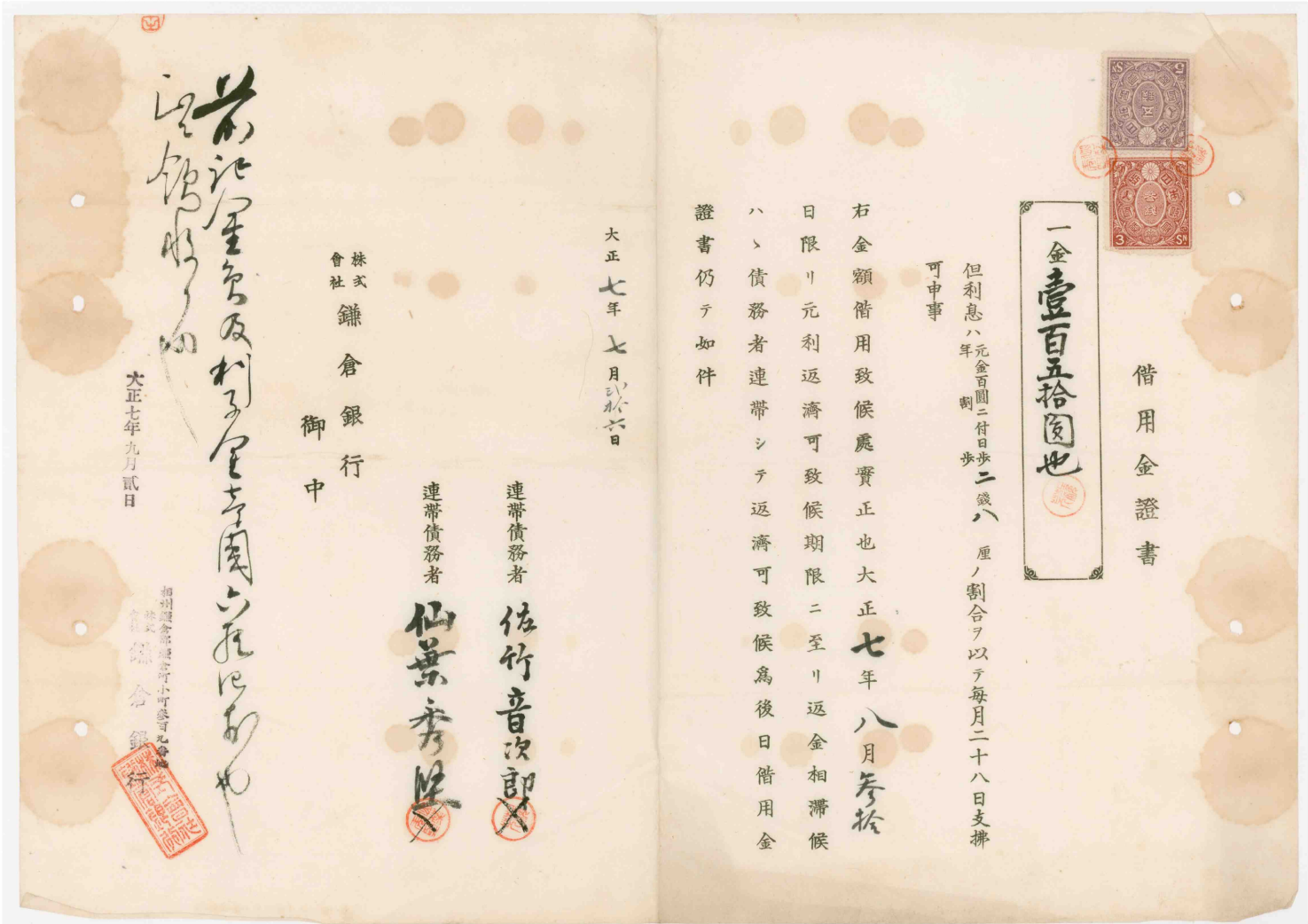


保育園資金源となった書画と芳名簿
詳しくは音次郎会ホームページ「活動
報告」12月定例会に掲載しています。



「創立以来経営苦心の記録書類」という別の茶封筒には鎌倉銀行などの借用書がたくさん入っていました。封筒に書かれている通り、経営苦心の様子を感じ取ることができます。

詳しくは音次郎会ホームページ「活動報告」12月定例会にカラーで掲載しています。



一月

本年
使命

明治廿八年(上半期)日記

①朝集小見

天ノ恩寵優渥ニシテ我等畢生使命ハ孤兒ト寡婦トスベキコトノ道筋ハ昨年中於テ略示サレタルコトヲ我能ク感謝ス昨年末迄ク及ビテ我ハ頻りに本年三ハ斯神恩寵ヨリテ勇士戦場ニ於ケル如ク奮戦突撃シテ我等ノ本分ヲ為スノ闘コトヲ期スに至リ果シテ我々君夫妻昨年来持テ忠告戒諭シタル一事(即チ人ヲ遣テウイ寛容ナレ督促シテ却テ威信ヲ損シテヲ蹟カスカレト)コト背反ス余之ヲ責ム彼ハ悟ル色ナシ余彼ニテ指彈

院育保見小

快ニ成人モ皆安泰ナルヲ得タリ、

二月

本年
全

院育保見小

①朝集小見、余ハ昨日腰越ト片ヤ前ヲ廻礼シ今日江島ト往テ廻礼ス本年ハ始メテ年取贈物ヲ全癈セリ中秋月々テ夕飯後食后ト受ケ九時頃ヨリ夕集ヲ開ク熊子以下皆能ク睡ル余集マリ時睡ル可カラズ本年ハ堅ク所習ヲ去ルキコトヲ以テス皆守ルコト能ハズ及テ多ク不手アルガ如キヲ熊子ノ哭キ動ハ見ル余祈ヲ捧ケ彼等ヲ益々睡ル余ノ苦悶甚シク戦々トシテ牙戦ヲ生ズ公ニ祈ル能ハガルに至ル此間於テ主イヌノゲツセマネ、在セシ時ノコトナド

カウセマネ
ノコトヲ想

高知城歴史博物館の活動と佐竹音次郎関係資料の概要

令和元年 5 月 10 日

高知城歴史博物館 企画員 筒井聡史

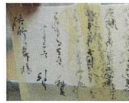
1 高知県立高知城歴史博物館

・沿革 ・収蔵資料 ・使命 ・活動

2 地域連携事業と企画員

・地域資料の調査 ・住民活動への協力 ・地域文化の紹介 ・文化施設との連携

3 佐竹音次郎関係資料の概要

	年代	概要	点数	画像
日誌	明治 38 年 ～昭和 14 年	音次郎が記した日誌。医療・教育・保育の他、国内外の社会情勢に関する内容カ。	29 点	
芳名簿	明治カ	鎌倉小児保育園への賛助を目的とした書画会の芳名簿。	2 点	
手紙	明治～昭和カ	未詳	100 点以上カ	
木箱（書類）	明治～昭和カ	保育園の経営に関する書類、土地関係の書類、賞状など。	1 点 *書類は 100 点以上カ	
写真帳	昭和カ	晩年の音次郎の写真が中心カ。旅順での写真やヘレン・ケラーとともに撮影された写真がある。	1 点 *写真は 数十点あり	
写真・許可書	明治～昭和カ	写真（複製）や財団設立許可書が額に収められる。音次郎に関する記念事業で作成されたものカ。	22 点	
書籍	未詳	音次郎について記された書物。	15 点	—
軸箱	未詳	未詳	1 点	—
賞状	未詳	未詳	3 点	—

4 今後の進め方

・資料受け入れ ・整理保存 ・記録撮影 ・目録作成 ・公開

Kochi Castle
Museum of
History

高知県立
高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

SCHEDULE & GUIDE

高知県立 Kochi Castle Museum of History

高知城歴史博物館

展示スケジュール & ご利用案内

2019 2020

4+3



高知城博が答えます

地域の
歴史と文化の
に

高知県立

高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

佐竹音次郎関係資料をめぐって・個人史の捉え方・

高知城歴史博物館 渡部 淳

【日記という史料】

・備忘録 ・自省録 ・社会記録

◎音次郎の日記（明治三十八年元旦より毛筆の日記／昭和十四年まで）

明治三十八年（一九〇五）四十一歳

八月十九日

医業を廃止して保育事業に専念
医業廃止・保育に専念するを決意
翌月医院を譲渡

〈音次郎の決意〉

一日

天父ノ恩寵優渥ニシテ我等畢生ノ使命ナル孤兒ト寡婦トニ尽スベキコトノ道筋ハ
昨年中ニ於テ略ボ示サレタルコトヲ我能ク感謝ス、昨年末ニ近ニ及ンデ我ハ頗リ
ニ本年コソハ斯神ノ恩寵ニ因リテ勇士ノ戦場ニ於ケルガ如ク奮戦突撃シテ我等ノ
本分ノ為メニ闘ハンコトヲ期スルニ至レリ

〈世相〉

二日

此日新聞紙ハ号外ヲ以テ旅順ノ大快報トシテ松樹山砲台（昨年大晦日占領ノ）ノ
捕獲品ト望臺ノ占領（昨一日）ト共ニ敵將ステツセルヨリノ開城ニ関スル書面ヲ
昨夜九時受取リタリトノ電報昨夜大本營ニ著セルヲ報シ来リ、市中為ニ賑ヒ家々
国旗交叉ノ模様ヲ附セル提灯ヲ掲ケ樂隊行列等アリ、余モ亦未曾有ノ勝利ヲ感シ
テ益々奮闘激戦終局ノ勝利ヲ期スルノ念ニ堪ヘザルモノアリ

〈寄附〉

六日

此日内村鑑三師来訪、金一円寄附セラレタル由

十三日

一昨日横浜ニテ籬ヲ注文シ置ク、百個一円ノ筈也

十四日

貯金箱八十三個ニ「ペーパー」ヲ貼ス、午后十時ニ完了ス

〈信仰〉

十六日

帰リテ日課ノ約第一〇第四章ヨリ黙示録第一章ノ第八節迄ヲ見ル

【歴史における個人研究】

◎音次郎の評価、万能者はいない、

「人間は生まれたときから社会の中に存在し、孤立した存在であることは不可能であります。」

「ある時代の偉人というのは、彼の時代の意志を表現し、時代の意志をその時代に向って告げ、これを実行することの出来る人間なのです。」

個人↓生い立ち 学問 思想 信仰 家庭 交流
部門↓医学 福祉 キリスト教
社会↓近代化の問題

総合的評価